

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H26.12.2 後藤 省一

1. 日時 平成 26 年 10 月 30 日（木）午後 6 時 30 分～午後 7 時 45 分
2. 場所 白沢公民館 糠沢分館（和室）
3. 出席議員 橋本善壽 後藤省一 佐々木広文 遠藤孝夫 國分義之
（5名）
4. 出席市民 3名
5. 会議経過

【午後 6 時 30 分開会】

◇佐々木議員 開会宣言

本日は、大変お忙しいところ第 2 回の本宮市議会「市民との意見交換会」にご出席いただき、感謝申し上げます。それでは、開会挨拶を副議長の國分議員より、お願いしたいと思う。旨の進行で始まる。

◇國分副議長 挨拶

お忙しいところ第 2 回の「市民との意見交換会」にご出席いただき、本当に感謝申し上げます。市民から信頼される、信頼できる「議会」でなければと考えている。そのためにも皆様のところに出向いてご意見などを聞き、市に伝えるために、本日の 2 回目の「意見交換会」に至った。本日のお願いとして、意見交換会を進めるための留意点を説明する。特に議員それぞれの意見等については、差し控える。旨の挨拶。

（出席議員自己紹介）

【報告】

◇ 遠藤議員

（議会構成、定例会・臨時会の審議の概要、会派制の導入と政務活動費について報告を行う）

《質疑 要旨》

問（市民） 市議会は、原発の廃炉の話はしてないのか。大玉村は、日本一美しい村になった。山、道路にもゴミがない。本宮はどうなのか。原木雑木が

あり土手には草が伸び放題、議会はどう考えているのか。荒池の環境を、ある議員に頼んだが少しも進まない。三ツ森池は、綺麗だった。どう考えているのか。本宮は、20年遅れている。中ノ橋も車が通らない。商店街の活性化もない。

答 遠藤議員 東日本大震災後、東日本大震災特別委員会にて話をして来た。廃炉か継続かで、会派で女川原発を見てきた。

答 佐々木議員 本宮市議会においては、結論は廃炉。また、国に「意見書」を出している。荒池環境については、根本七太議員も一般質問している。今後、調査していきたい。

【意見交換】

◇ 橋本議員 意見交換

これより、意見交換をテーマに添って進めていく。まず、「定住人口増加への取り組みについて」である。本市は平成19年1月1日に人口31,600人強であった。今年9月1日には30,520人である。議会としても、人口増に力を入れて頑張っているが、皆さんのご意見をいただきたいと思う。

◇ (市民) 減少は、結婚する人が少ないため。私の町内に30才以上が20人もいる。人と人のコミュニケーションが無い。人口を増やすには、まず仕事である。仲人しても、大変難しい。結婚して子供を作ってもらふことだ。

◇ 橋本議員 出会いの場や仲人達を自治体で進めている所もある。何かいい方法があれば。

◇ (市民) 私、子どもが3人おり、孫が11人いる。子どもの1人は離婚している。あまり家庭の話はしたくないが。

◇ 橋本議員 住宅問題、人口問題、永住の条件、福祉の問題等はどうか。

◇ (市民) やしきのため、人間的にいろいろと残したい。長男は役所で定年、振興は減少している。

◇ 橋本議員 その他に、地域の助け合いについて、2月の大雪ではどうであったか。

- ◇ (市民) とにかく、除雪が遅かった。大雪 4 日目でようやく掃いてもらった。
- ◇ 橋本議員 私たちにも電話が多く来た。人力・トラクター等の助け合いは、どうであったか。
- ◇ (市民) 自分の入口くらいは掃かないと。やってもらった事に対しては、敬意を申し上げる。
- ◇ 橋本議員 議員も、職員も対応が大変だった。特に年配者はどうであったか。
- ◇ (市民) 10 年前、民生委員として、年配者の面倒を見てきました。
- ◇ 橋本議員 困った時はお互いに助け合いである。
- ◇ (市民) コミュニケーションがないから。
- ◇ 橋本議員 難しいが、コミュニケーションはどのようにすれば良くなるか。
- ◇ (市民) 子どもの教育が大切である。
- ◇ 橋本議員 原点は子どもの教育である。その他について何かあれば。
- ◇ (市民) 山の手入れ、草も生えている。枝おろししないから。焼却炉でも考えれば。
- ◇ 橋本議員 バイオマス・太陽光・水力も考えられる。その他なにもなければ終了する。
- ◇ 佐々木議員 出席者の、定住化・大雪・コミュニティ・市の発展等の意見に対し感謝を申し上げて終了。

【午後 7 時 45 分閉会】